



読者 原田 銀

No. 807

2016/ 9/15

日中友好新聞

発行所
 日中友好協会
 〒713-0854 岡山県倉敷市中央1-8-4
 西門315-1-1807211

日中友好協会
 岡山支部
 〒713-0256
 岡山県北3-8-30-514
 TEL:0861272-3016
 郵便番号110
 01250-0-3835

日中友好協会
 倉敷支部
 〒713-0914
 倉敷市遊島中央1-8-4
 (宮地方)
 TEL: FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
 メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



岡山市九条の会連絡会

一年間の活動を振り返って

岡山市九条の会連絡会は、8月20日(土)の午後、林病院ひまわりホールで、第二回総会と学習・交流会を開きました。参加者は28人で内訳は、(資料一)のとおりです。

会は、事務局の三戸さんが司会をし、榊原代表委員のあいさつではじまりました。事務局の小林さんから、昨年の8月



地域に根ざした活動が大切

各九条の会から活動報告が三つありました。

① 三郷・旭東九条の会の緋田さんからは、会のニュースNo.123をもとに、賛同署名(7000筆を目標)や学区の小・中・高に平和の折るるを折ってもらうなど

② 鹿田・大元九条の会の木村さんは、毎月一回世話人会を開き、街頭での宣伝・署名活動に力を入れて取り組んでいる報告がありました。

③ 弁護士九条の会の加藤弁護士からは、9月24日の「立憲主義を守る!」

IVE(野田淳子)と講演 木村草太への協力要請がありました。同時に、自らも改憲勢力を少数に追い込むために、政治革新に向けて活動したいと力強く話されました。

小畑講演の

詳細は後日

休憩後は、小畑岡大名教授の「安倍政治を許さない」立憲主義と市民の視点から」と題する記念講演がありました。

内容は(一)「安倍政治」とは何か、(二)「安倍政治」と対決するあたらしい政治」とは何か、(三)「あたらしい政治」の1世紀型の市民革命」の課題でした。

熱のこもった力強い話で、市民と野党の関係の現状分析や今後の取り組みについて示唆をいただきました。

閉会のあいさつで代表委員の石野さんは、幼いころの体験をもとに平和の大切さを力説しました。

日中岡山支部は、竹内理事長、真田支部長、小林事務局長、宇野理事など多くの会員が「日中不再戦は、憲法九条を生かす道」との立場で、岡山市九条連絡会にかかわっています。

【資料一】 参加者の内訳

	会 名 称	参加人数
地域九条の会	御津九条の会	3
	操南九条の会	4
	宇野九条の会	4
	平井九条の会	3
	岡北九条の会	1
	上南九条の会	1
	大元・鹿田9条の会	1
	三郷・旭東九条の会	1
	旭操・富山9条の会	1
分野別九条の会	科学者九条の会	2
	岡山登山者九条の会	1
	岡山マスコミ九条の会	1
	弁護士九条の会	1
	NPOおかやま人權研究センター九条の会	1
その他	岡山県九条の会	1
	岡山市議	1
	岡山市九条の会連絡会事務局	1

【資料二】 連絡会この1年のまとめ

(1) 成果

- 11月28日に「オールジャパン実現のためのシンポジウム」を開催し、県内の野党共闘の世論づくりの先駆けとなった。
- 2月28日に設立した「安保法制廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまっぼんの会」に参加し、会の共同代表や事務局メンバーに加わり、野党候補の一本化に貢献した。
- 上記の活動を通じて、9条をはじめとした日本国憲法の大切さを再確認し、「憲法を守れ」の世論づくりに貢献した

(2) 課題

- ニュースの発行(3回)や各種の案内などで、一定の情報提供はできたが、各九条の会の取り組みを全体で共有することが不十分であった。
- 「っぼんの会」の設立、「野党共闘」の実現後は、九条の会の独自活動ができなかった。
- 活動停止状態の組織に対して、実情を正確に把握し、必要な援助をすることができなかった。

(3) 今後の取り組み

- 当面、日本国憲法と自民党憲法草案の学習会を各九条の会を中心に組織していく。
- 連絡会は、年2回の交流会を行う。1回は学習会、もう1回は総会とする。
- 事務局会議(代表委員と事務局員で構成)を定例化し、年6回程度開催する。また連絡会ニュースを年6回発行する。
- 「憲法改正」阻止、憲法の完全実施をめざし、っぼんの会や弁護士九条の会などの諸団体と共同・連帯した活動を強める。
- 全国・県の九条の会との連携を強化する。
- 財政は当面、寄付金で賄う。

夏の恒例ビアガーデン

日中岡山太極拳講習会

8月3日(水)12人で夏の交流会。今年は大満屋ビアガーデンに行きました。夕方6時屋上テラスには、すでに若者の活気でいっぱい。数々のバイキング料理にあれもこれもと手がのびます。

あちこちの乾杯の声に負けないように夏のひとときを大いに楽しみました。最後のデザート・アイスクリームまで、おいしかったです。

西大寺同好会は生まれたばかり。先輩たちの太極拳話に興味津々、太極拳つて奥が深いでしょう」



岡田

亀戸事件93周年追悼会に参加して

竹内和夫

小学生だった私の遊び場でもあった赤門(浄心寺)の墓地に立つ記念碑には、つぎのような碑文が刻まれている。

1923年(大正12年)9月1日関東一帯をおそった大地震、その混乱に乗じて、天皇制警察国家権力は、特高警察の手によって、革命的労働者を逮捕し、亀戸署において軍隊に命じて虐殺した。遺骸の場所は、いまなお不明である。1970年9月4日亀戸虐殺事件建碑実行委員会。

毎年9月の第一日曜日に追悼会がある。去年は入院中だったので参加できなかった。

先日9月4日には93年目の式に参加できた。日本国民救援会中央本部の吉田さんから経過報告、読経、四団体の追悼の言葉、メッセージにつきき、石播労働者合唱団の「たかいの歌」は南葛労働者の歌と「インターナショナル」参列者73人の合唱。式典が終わると、犠牲者の碑へ献花の列がつづいた。

高校における主権者教育は

これからだ実感

去る8月6日(土)、岡山弁護士会主催のシリーズ憲法講習会 No.8 18歳の日本国憲法―主権者としてこの国のあり方を考えるために」が岡山国際交流センターで15時30分〜開催されました。講師はNo.7に続き、九州大学法学部教授の南野森氏です。

南野教授はAKB48のアイドル山内菜月さんに憲法の講義を行い、それを「憲法主義」

というわかりやすい憲法入門書にまとめてくれたことで、よく知られている憲法学者です。実は、前回の南野教授の講演ではたくさん的高校生が参加し、活発な意見交換が行われました。それで今回も高校生や中学生の参加を呼びかけ、当日20人ほどの高校生が参加しました。

講演会はまず、南野教授が憲法について基本的な講義をした後、各班でふたつのテーマについてディスカッションしました。

テーマ①は「日本も憲法9条を改正して軍隊を持つべきだ」という意見について、あなたはどう考えますか?、あなたはどう考えますか?、



の班が、強大な軍事力をもつ中国が攻めてきたら自衛隊で勝てない」という意見と軍隊をもつことは戦争すると宣言するようものだ」外交で防げるのではないか」という意見など、賛成・反対両方が出て、結論は出なかったようです。

政府の「中国脅威論」北朝鮮脅威論」が高校生にも一定程度浸透しているのではないかとと思われる結果でした。

テーマ②は「高校生が政治活動をするには学校に届け出を要することとすべきだ」という意見について、あなたはどう考えますか?というものでした。テーマ①について、高校生の各班から代表者が議論の様子を発表しましたが、多く

ことではありません。現代社会」の授業では社会契約説や日本国憲法の基本的的人権などについて学習しているのですが、今日来た高校生はまだ、学習していないのかもしれない。高校における主権者教育はまだまだだと実感させられた次第でした。

犬飼 繁

柳条湖事件85周年街頭宣伝

- ☆日時 9月18日(日)11:00~12:00
- ☆場所 天満屋アリスの広場前
- ☆ ビラまきとハンドマイク宣伝

今から85年前・1931年9月18日、中国東北地区瀋陽で日本軍が鉄道爆破事件を起こし、これを中国側の仕業として中国東北部への戦争を始めたのです。中国では「9・18」(チウ・イーパー)と呼んで忘れられない日です。この年から1945年8月15日のアジア太平洋戦争の敗戦まで約15年間も戦争を続け、中国人をはじめアジアの人々2000万人の命を奪ったばかりか、310万人以上の日本国民の命も失うことになりました。

戦後71年の今年、「日本を再び戦争する国に変えようとする安倍首相が背を向けてきた侵略戦争の真実」を多くの人に伝え、日中不再戦と憲法9条をまもり再び戦争のない平和な日本への願いを込めて宣伝を行います。多くのお手伝をお願いします。

次回の新聞送付作業は9月21日(水)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 和 曾田 内 竹内 曾竹 内